

## 切実な市民要望と 思いやりのある福祉市政

日本共産党知立市議団

中島 牧子 議員



市道牛田20号線踏切

**問** 東小学校通学路の踏切は狭  
いうえ、通過車両の増加で危険  
国が示す改良すべき踏切の基準  
に合致するのでは。申請期限は  
32年まで延長。申請の考えは。  
**答** 知らなかった。研究する。  
**問** 牛田駅の環境整備で駅駐輪  
場に屋根の設置要望がある。自  
転車法では鉄道事業者の駐輪場

設置の協力義務や協議会設置を  
明記。法を生かし対応すべき。  
**答** 屋根があればよいと思う。  
協議会は設置していかないが、自  
転車法を研究し、三河線複線化  
の協議の場で屋根の問題を出し  
てみる。

**問** 市は福祉行政全般で、専門  
知識及び技術を持って相談、助  
言、関係機関との連携・調整等  
を行う専門家、社会福祉士を配  
置していない。採用すべきでは。  
**答** 必要と思う。今後研究する。  
**問** 3歳未満児の保育園待機児  
の解消について検討結果は。

**答** 逢妻保育園で3歳未満児保  
育を32年度から始め、39名定員  
にする。園舎面積不足の為、幼  
児保育は在園児卒園で終了。保  
護者にはしっかりと説明する。

**問** 介護タクシーは30年度、1  
日2回の利用制限。病院帰りに  
院外処方薬局も寄れないのか。  
杓子定規な対応の改善を。

**答** 申し訳ない。利用者に寄り  
添う運用を業者にも徹底する。

## 歴史文化を基軸とした 地方創生

立志会

中野 智基 議員



**問** 社会状況が成熟期に入り、  
今までの手法による量的拡大の  
まちづくりや開発は限界を迎え  
ている。今後の市政運営は、成  
長局面とは異なる切り口にて各  
種施策等を実施することにより、  
住民の上質な生活環境を構築し  
ていかなければならない。大正  
時代に始まった、わがまちの鉄



東海道松並木

道を基軸としたまちづくりは100  
年を経た現在、知立駅周辺整備  
事業が完了する平成35年度をも  
って総仕上げとなる。今後人口  
が減っていく中、都市間競争が  
本格化していくが、近隣市と同  
じ政策や手法による施策を実施  
していたのでは、わがまちは埋  
没してしまうことが危惧される。  
今後50年の知立の将来を考えた  
時、他市が真似できない本市の  
唯一無二の武器である歴史文化  
を武器に、都市計画や観光振興  
を実施していくべきではないか。  
**答** 例えば、ユネスコに登録さ  
れた山車文楽とからくりや、歴  
史を誇るかきつばたなど、他市  
には真似できないそれらのもの  
を誇りにし、我々が責任を持つ  
てまちの資産として守っていく  
ことは大切である。今後の知立  
のまちづくりを考えた上で、本  
市唯一無二の歴史文化等を守り  
育てていくことにより量的拡大  
ではなく、まち全体の質的向上  
につなげていきたい。

## 当面する諸問題

立志会 高木千恵子議員



**問** 学校を楽しい居場所にするために環境整備を進めるべき。特別支援学級での段差の解消やトイレ洋式化。また、学校は災害時避難場所でもあり、トイレ改修工事を早急にすべきでは。

**答** 計画的にしっかりと実施していかなければと思っている。

**問** 知立小学校の全面改修工事は3年遅れている。小中学校全ての公共施設保全計画の完了は。

**答** 全ての大型改修完了予定は2037年度の予定。

**問** ふるさと応援寄付金を学校トイレ洋式化に活用しては。

**答** 洋式化は全国的な問題であり寄付金が集まりにくい。

**問** 住み慣れた地域で暮らし続けるための、介護予防教室などお知らせ時にミニバス利用のできない高齢者へ配慮すべき。

**答** 高齢社会を見すえ検討。

**問** 高齢者、障がい者に、耐震シェルターと防災ベッドの紹介を積極的にするべきでは。

**答** 広報、自主防災会、町内会



**問** 回覧などで情報提供の予定。

**答** 知立駅周辺整備事業で、駅

北幅員30m道路につながる本町地区の事業認可申請手続きの前に、住民への説明をすべきでは。

**問** 32年度の事業認可後に予定。

**答** 駅北栄1丁目無料駐輪場が公園となった時点の駐輪場は。

**問** 連立事業後、高架下の予定。

## 子どもの安全対策 小中学校環境整備

立志会 永田起也議員



**問** 近年全国的にも通学途中の子どもを巻き込む事件が相次いでいる。市内でも不審者情報が入る時があり、今後も児童生徒が安心して登下校できるよう安全対策を強化すべきでは。

**答** 防犯教室、こども110番の家等の対策で児童生徒の防犯力を促し、通学路においても学校安全ボランティア連絡会や交通安全指導教室を開催して警察から市内の情報を知っている。交通安全も含め一同に毎年防犯体制の点検・見直しを行っている。

**問** 学校の校舎や体育館の長寿命化・大規模改修は大幅に遅れている。将来性を見込んでエアコンを設置できるよう改修計画を進めるべき。

**答** 当時の学校整備計画をしてきた時代と現在の生活様式が変化してきた。国の方針や全国の動向等を注視しながら今後整備計画を考えていく必要がある。

**問** 市内小中学校プールは全て建設以降35年以上経過しており

老築化は著しく毎年修繕を要して利用している。今後の方針は。

**答** 使用日数・使用期間や修繕やコストを考え、プール改修計画は体育館整備の後となるので先が長い。他の自治体の例では民間プール施設の活用をしているところもあり、今年度より庁内で検討を進めていく。





## 野外センター・観光行政 総合グラウンドについて

市政会 池田滋彦 議員



**問** 来迎寺小学校が試験的に児童の森で野外学習をしたが、児童、保護者からの意見は。

**答** 児童にとっては初めての利用のため、すべては比較できないが、おおむね良好と感じる。

**問** 野外センターは老朽化と維持管理、今後の運営を考えると、役目を終えたのと思うが。

**答** 利用および管理の両面からの検証を行い、今後の方向性を決めたい。

**問** 知立市の観光の取り組みに行政、観光協会、各団体が連携機能してないのでは。

**答** 観光協会は各種団体と、経済課で行っており、機能はしているが十分ではない。

**問** 松並木で野点茶会が文化協会主催で開催されたがなぜ観光協会が一緒でないのか。

**答** 文化協会が単独で開催したがパンフレットなど協力はした。今後は協議の上関わっていく。

**問** ちりゅっぴとミスかきつばたを観光に利用すべきでは。

**答** 昨年までは宣伝に力を入れたが活用されていない。今後はもつと活用し観光宣伝する。

**問** 総合グラウンドを弘法町地内と決定していたが凍結。河川治水で使用できない、地権者に対し利用できない説明をしては。

**答** 今後の検討とする。



知立市野外センター(伊那市)

## 学校の普通教室にエアコン 笑顔になれる外出支援を

日本共産党知立市議員 池田福子 議員



**問** 生活環境の変化や地球規模での温暖化、鉄筋コンクリート建造などの影響で気温上昇、近年熱中症が頻発している。知立の小中学校の普通教室の空調設置状況と今後の予定は。

**答** 図書室等の特別教室は普及されつつあるが普通教室は未設置。現在取り付ける計画はない。

**問** 熱中症は重篤な症状を発生し、精神論で我慢を強要すれば重大事故になりかねない。保護者等の要望も強い。文部科学省は冷房使用基準温度を30度から28度に切り下げた。熱中症は温度管理等により回避可能。全国設置状況でも愛知は県は低い。近隣市は設置方向にあるが。

**答** 確かに環境は変化している。今後の課題として考えたい。

**問** ミニバス導入以来、利用者も増えたが安全性を考慮し全車を低床化すべき。高齢者はバス停まで歩けない人もあり結局外出を諦め介護度に影響。タクシンの併用も有効。他市では乗り

合いの利用やバスとの連携などきめ細かく対応しているが。

**答** 定期的に見直しがありその都度意見を取り入れ改善したい。

**問** 現在の介護タクシーは重度者対象。介護認定者は税法上障害者として控除の対象、ならば障害者タクシー券の発行を。

**答** 今後の検討課題としたい。



教室内扇風機